

トロツキーの能力評価

三一〇 ロシア共産党（ボ）中央委員会政治局員
のためにヴェ・エム・モロトフへ

八月十一日

同志モロトフ！

アメリカと国際連盟による飢饉難民の救済に関連した諸問題を日常的に解決するため、
カーメネフ
トロツキー

モロトフ（チチェリンを代理に出してもよい）からなる特別の委員会を政治局から任命
することが、絶対に必要である。

ここではきわめて複雑な賭けがおこなわれている。アメリカ、フーヴァー⁽¹⁾および国
際連盟理事会の卑劣さは、人並みはずれている。

フーヴァーをこらしめる必要があり、全世界が見るように、公然と彼の横面をぶんなぐ
る必要がある。国際連盟理事会にたいしても同様だ。

これをやってのけるのは非常にむずかしいが、やらなければならない。

私は働けない。こうしたことに能力のある（外交上の経験も、軍事上、政治上の勘^{かん}もあ
る）トロツキーの助力が絶対必要だ。

至急電話で政治局の表決をとってもらいたい。

この書きつけを皆に見せて、票を集めてくれたまえ。

レニシ

手本にとるべきものはドイツ政府とノルウェーの政府だ。

これとは別の態度は、だれにもはっきりした理由をつけて拒絶し、全世界にむかって公
然と言うべきだ。

隠れた干渉支持者をつかまえるべきだ（ウンシリフト⁽²⁾に援助を頼むこと）。

救済委員会*の機構を引きしめるべきだ。（働き手がいなければ、二ヵ月間軍人から借
りてくること）。

ここしばらくは合議による活動がとくに重要だ。この困難きわまる仕事の政治的責任は
非常に大きいから。

レニシ

二伸。抜け目のない駆引が必要だ。一連の措置、とくにきびしい措置をとること。フー
ヴァーとブラウンは恥しらずでうそつきだ。

条件は厳格きわまるものをつけるべきだ。ほんのちょっとした内政干渉にたいしても、
追放と逮捕だと。

(1) フーヴァー、ハーバート・クラーク(1874 ~ 1964 年)——アメリカの政治家。1921-28年、商務長官、ついで
大統領(1928-33年)。

(2) ウンシリフト、イ・エス(1879 - 1938 年)——1900年からの党员。1921-23年、全ロシア非常委員会(ついで国
家保安部)副議長。

事項訳注 P845

* 全ロシア中央執行委員会飢饉難民救済中央委員会のこと。

事項訳注 P838 (P229 の訳注)

セマシコは救済委員会の設置に反対し、その理由として、メンシェヴィキとエス・エルが委員会を利用してソヴェト権力に敵対する活動をおこなうおそれがあることをあげた。これを阻止するため、政治局は、委員会のなかに党グループを組織する計画を承認し、ブルジョア「社会活動家」は一定数だけを委員会幹部会に入れることを決定した。

参考 序文 V

1921 年に、凶作のために、とくに沿ヴォルガ地区で幾百万人が飢えに苦しんだ。飢饉との闘争を組織することは、ソヴェト国家の緊急任務の一つであった。この巻にはいった諸文書には、国内の食糧資源を動員し、これを正しく分配し、穀物との交換用の商品ファンドを形成し、穀作諸県からの食糧の輸送を改善し、外国から食料品を買い付けるために党と政府がとった主要な措置が反映されている。

ソヴェト政府は、飢饉に乗じてソヴェト共和国に政治的圧力をくわえようとした世界帝国主義の企図に断固として反対した。いろいろな手紙に、レーニンが帝国主義者の駆引をどう暴露したかが示されている。「ここではきわめて複雑な賭けがおこなわれている。アメリカ、フーヴァーおよび国際連盟理事会の卑劣さは、人並みはずれている」——レーニンは政治局員への手紙にこう書いている (289 ページ)。

レーニンは、ロシアの飢饉難民救援のための資本主義諸国の勤労大衆の運動に大きな注意をはらった。

第 45 卷 P289-290 『党政治局員のためにヴェ・エム・モロトフへ』

1921 年 8 月 11 日に執筆

1965 年に『レーニン全集』第五版、第五三巻にはじめて発表

手稿によって印刷